

ESD(持続可能な開発のための教育)推進のためのダイアログin飯田(南アルプスBR)

ユネスコエコパークを活かした ESDによる地域創生

ユネスコエコパーク(生物圏保存地域／BR; Biosphere Reserves)は、豊かな生態系を有し、地域の自然資源を活用した持続可能な経済活動を進めるモデル地域として、ユネスコにより国際的に認定された地域です。日本国内には10の認定地域があり、その一つであり、2014年に登録承認された「南アルプスBR」において、「ユネスコエコパークを活かしたESDによる地域創生」をテーマにしたダイアログ(対話の場)を開催します。



写真:飯田市の遠山郷にある日本のチロルと呼ばれる「下栗の里」(提供:飯田市)

【日時】2019年11月16日(土)開演13:30~16:30(受付開始13:00)

【会場】飯田市役所(本庁舎)C棟3階 C311-313号会議室

主催:中部地方ESD活動支援センター(環境省EPO中部)

共催:飯田市、信州ESDコンソーシアム

後援:南アルプス自然環境保全活用連携協議会、飯田市教育委員会



【プログラム】

■講演1

ユネスコエコパーク×ESD:人と自然が共生する持続可能な社会づくり
水谷 瑞希 氏(信州大学教育学部助教)

■講演2

ESDによる地域創生のすすめ
阿部 治 氏(立教大学教授、同ESD研究所長、ESD活動支援センター長)

■話題提供1(国内BRの取組紹介)

ユネスコエコパークにおける只見愛の育成とESDへの期待
齋藤 修一 氏(只見町ブナセンター長)

■話題提供2(飯田市の取組紹介)

学校と地域が協働するESD for SDGs
村松 亮彦 氏(飯田市立上村小学校長)
田中 清一 氏(飯田市教育委員会事務局学校教育課教育指導主事)

■話題提供3(飯田市の取組紹介)

高校生講座 カンボジア・スタディツアの取組について(仮)
飯田市公民館(調整中)

■グループディスカッション

ユネスコエコパークの理念を活用したESD視点による地域づくり



中部地方ESD活動支援センター

Education for Sustainable Development

2019年11月16日開催・E S D推進ダイアログin飯田

参加申込方法

●ウェブサイト(申込フォームあり)、メール、F A Xのいずれかで、①お名前、②申込人数と同行者のお名前、③ご所属先、④連絡先(電話番号かメールアドレスのどちらか)を送付してください。

※メールの場合は、件名欄に「1116 E S Dダイアログ」と記載してください。

※F A Xの場合は、下枠内に必要事項を記入のうえ、このまま本紙1枚を送信してください。

●定員を超過した場合は、先着順とさせていただき、その場合は落選者へのみ連絡いたします。

フリガナ ①お名前		
②申込人数	申込者を含めて _____ 名	
同行者 お名前		
③ご所属先 (組織名・ 部署名等)		
④連絡先: 電話番号		

●申込先●中部地方E S D活動支援センター(環境省EPO中部内)

【ウェブサイト】<http://chubu.esdcenter.jp> ※参加申込フォームあり

【メール】office@chubuesdcenter.jp

【F A X】 052-218-8606



飯田市役所・本庁舎まで

- JR飯田駅から徒歩約10分
- 飯田ICから車で約10分
- 飯田市役所ウェブサイト(交通アクセスページあり)
<https://www.city.iida.lg.jp>

高速バスで飯田市(「飯田駅前」等)まで

- 東京(バスタ新宿)から約4時間半ほど
- 名古屋(名鉄バスセンター)から約2時間ほど
- 長野市(長野県庁前)から約3時間ほど